

一般質問

市政全般にわたり17人の議員が質問 (要旨を掲載)

市町村減災推進事業費補助金の活用について問う

沖本 浩一 議員 《ごま大志会》

消防団の待機室、器具置き場の耐震化や建てかえは、早急に対応しなければならぬ課題と考えます。

今年度、神奈川県で新たに創設された市町村減災推進事業費補助金の制度概要資料によると、補助金の対象事業として消防団の拠点施設、資機材等の整備も含まれています。このことから、先の課題や用地取得などの事業にも充当できるのではないかと考えますが、この補助金を活用した待機室、器具置き場の整備を考えているのか、当局の所見を伺います。

消防長 消防団の待機室、器具置き場の整備につきましては



池田 徳晴 議員 《ごま大志会》

貧困の連鎖を断ち切る 生活者自立支援の充実を図れ!

本市では、平成27年度から開始した生活困窮者自立支援事業において、自立相談支援、被保護者就労支援等の必須事業は実施しましたが、就労準備支援、一時生活支援、家計相談支援、子供の学習支援等の任意事業は全て実施していません。事業の現状と今後の計画について、特に、家計相

談支援事業は、家計管理の問題が重要視されており、次年度は実施すべきと考えますが、当局の見解を伺います。

福祉部長 任意事業の実施を検討するため、生活保護の新規相談者に対する面接で行う項目から生活困窮に陥った理由を集計したところ、家計管理の問題が上位という結果

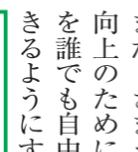
になりました。このことから、生活保護申請者、受給者で家計管理に問題を抱えている方や生活保護から自立した際に家計管理による支援を必要とする方が多いと推測されます。家計相談支援事業については、生活保護から脱却した方

さまざまな遊び環境と体力の向上を

安海 のぞみ 議員 《神奈川ネット》

子供に優しく子育てのしやすいまちづくりには、子供たちの遊びを豊かに活性化することが不可欠です。かつては自然に身につけることのできた子供時代の遊びを今では意図的に保障するという観点が必要で、本市の子育てアンケートによると、子育てを楽しく安心して行うために必要なサービスとして最も要望が高かったのは、子供を遊ばせる場や機会の提供で、学齢前は59%、学齢児童で61%となっています。遊び場の確保のために、空き地や生産緑地を有効活用した民地の開放の推進を提案しますが、その可能性と見解をお示しく下さい。

また、さまざまな子たちの体力の向上のためにも、学校の校庭を誰でも自由に遊ぶことができるようにする一般開放が有



座間市教育大綱案「国に尽くす」ことが教育の目標か?



沖永 明久 議員 《会派に所属しない議員》

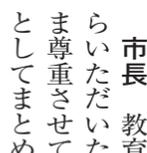
現在、座間市教育大綱の策定作業が進められていますが大綱案の「基本理念」では、「国や社会の発展に尽くす」という言葉がなくなっています。一

方、「施策の方向」では、「国や社会に尽くそうとする心を育みます」と記述され、「発展」という言葉がなくなっています。「発展」を入れるか入れな

が再び生活困窮状態にならないためにも、家計に課題を抱える生活困窮者からの相談に応じるとともに、家計の視点から相談者へ必要な情報提供や専門的な助言、指導等を行う必要性は高いと考えますので、事業の実施に向けて検討を進めていきます。

効であると考えますが、校庭開放の現状について伺います。**都市部長** 遊び場として開放できる民有地については、地権者の理解を得ることが前提ですが、可能な場所が確保できた場合には、周辺の公園や広場等の設置状況を考慮し、地元自治会等の意見を伺いながら利用を検討していきます。

教育部長 小学校の校庭は、放課後と長期休業中の平日に開放しています。現時点では、土曜、日曜の一般開放については考えていません。



安田 早苗 議員 《公明党》

食品ロス削減の努力を!

日本では毎年約1800万トンの食品が廃棄され、食べ残しなどの食品ロスは約800万トンで、一人当たり換算すると、おにぎり約2個分が毎日捨てられていることとなります。食糧難の国がある一方で、食べられる食料が大量に廃棄されている現状について、また、食品ロス削減の鍵は消費者の意識改革と考えますが、市民に対する啓発や削減に向けての取り組みについて、当局の見解を伺います。

さらに、飲食店などで食べきれなかった料理を持ち帰る容器であるドギーバッグは、食料の有効利用と食品ロスの削減にも効果的ですが、市内飲

ています。**教育長** 「施策の方向」については、とにかくわかりやすいセンテンスにするため、削れるものは削りました。確かに部分をとれば「発展」があるかないかでは意味が違います。しかし、文全体を見ていただければ、少なくとも無条件に国に尽くせとは書いていません。我々が意図したことはきちんと盛り込まれていると思っております。

市長 物や食べ物大切にすることを大切に意識し、廃棄物の減量という見地に立って市民の理解を深める取り組みが必要と考えています。**環境経済部長** 市民の方々が目にする機会を増やすためにも広報やホームページでの特集を検討し、先進市の事例も参考に「もったいない」という意識を持てるような実効性のある取り組みを研究していきます。ドギーバッグの導入は食中毒に対する問題も懸念されるため、慎重に検討していきます。



稲垣 敏治 議員 《公明党》

高齢者や交通弱者のために バス停に上屋やベンチ設置を望む!

高齢化社会の中で、高齢者や交通弱者の方がバスを待つ間に少しでも休憩ができるような屋根つきのバス停や待合ベンチの設置を8年前から議

本市では、公共交通の利便性、快適性を重視し、夏季の炎天下や降雨時の待ち時間の不快を避けるため、利用者が多く立地的、構造的に可能な

議会日誌

- 11・16 公明党行政視察：石川県金沢市、白山市（17）
- 18 全国市議会議長会研究フォーラム：福島県福島市（19）
- 20 議会運営委員会
- 20 全員協議会
- 24 全国市議会議長会基地協議会第84回理事会：東京都千代田区
- 25 議会報告会開催委員会
- 26 新潟県柏崎市議会視察来庁
- 27 第4回定例会本会議
- 12・4 第4回定例会本会議
- 7 第4回定例会本会議
- 8 議会運営委員会
- 8 第4回定例会本会議
- 10 企画総務分科会
- 10 企画総務分科会
- 11 健康福祉常任委員会
- 11 健康福祉分科会
- 11 教育市民常任委員会
- 11 教育市民分科会
- 11 都市環境常任委員会
- 11 都市環境分科会
- 14 基地対策特別委員会
- 14 議会改革特別委員会